

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達療育園HAGUMI 2くみ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	開所して間もなく、様々な活動に応じて広々としたスペースと清潔な環境となっている。	清掃や物の整理などを重点に行っている。	視覚的にも分かりやすいよう名称や写真を掲示していく。
2	様々な利用者が安心して楽しく通所できる。	様々な利用者が楽しみに思える取り組みを考案企画している。	職員の経験などを活用した取り組みを取り入れていく。
3	こまめに利用者の様子や変化などを気につけ、連絡共有を図っている。	保護者や園からの申し送りや起きた出来事をスタッフ間で共有している。	ご家庭の都合に合わせて、より柔軟な受け入れ等の体制を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や外部機関との交流や活動の機会が少ない。	情報入手や活動参加の機会および時間が確保しにくい。	研修や学習会など地域主体の活動に目を向け、参加を検討していく。
2	保護者のニーズに沿った柔軟な受け入れ、送迎面等の行き届かなさがある。	職員の配置人数によって可能な対応が限られている。	様々なニーズに対応できるよう余裕のある人数配置を図る。
3	子どもが使用可能な個室がなく、スペース分けが難しい。	1室の活動スペース以外にも落ち着ける空間づくりが必要。	個別対応がより柔軟にできるよう、室内環境整備を行う。